

会長挨拶

古賀 誠

全国道路利用者
会議会長



が国の国土の荒廃を復興する、国民生活の安定と安心の向上を目的として創立された、長い歴史と伝統をもつ会であり、その間、歴代の会長、そして多くの関係者の皆さんのたゆまぬ努力により、多くの功績と足跡を残すことができております。例えは道を賜ることができ、ここに路特定財源の創成など、盛大に開催することができたこと、心からお礼を申し上げます。

近年は自然災害も、著しく変化をいたしております。大災害の多い我が国の

現状であります。今年も九州の大雨にはじまり、夏は大変な猛暑でございました。また、つい最近鬼怒川、渋井川の決壊をはじめといたしまして、災害が大規模をいたしております。新潟県におきましても、新潟中越の大災害が発生し、それから11年の時を刻み、多くの皆さんの懸命の復旧と復興で、また新潟県も明るい2年間プランのもとに、希望のある、夢のあるまちづくりが始まっております。

戦後70年という時を刻んでまいりますと、道路利用者の責任は、一層重いものがあるかと思っております。そうした中で65回の全大会であります。この大会を契機といたしまして、私どもの使命と責任を今一、創立された昭和24年の思いに心を一つにして、こ

開会のことば

新潟県田上町長

佐藤 邦義

全国大会実行委員会
委員長



ました皆様を、心から歓迎申し上げます。さて、道路は国民生活や社会経済活動を支える、もともと基礎的な社会資本であります。また、東日本大震災においては、救援、救護活動や物資の緊急輸送路としての役割のほか、津波せき止め効果や、緊急避難場所等、被災面でも大きな効果を発揮するなど、まさに命の道としての道路整備の重要性が再確認されたところであります。

本県は、自動車交通への依存の高いことから、道路の整備と適切な維持管理に関する期待は非常に大きいものの、高規格の幹線道路の未整備区間の解消、道路の老朽化対策、防災、減災対策及び交通安全対策など、いまだ十分とはいえない状況にあります。このような中、われわれ地方行政を預かるものとして、地方創成の実現のためにも、重要課題として道路整備に取り組んでいかなければなりません。新潟県道路整備協会をいたしまして、

来賓挨拶

古木 岳美

新潟市長代理

新潟市副市長



たので、私が挨拶文を代読させていただきます。

本日、全国道路利用者会議全大会が、古賀会長様をはじめとする来賓の皆様、関係の皆様のご出席をいただき、盛大に開催されまして、ご挨拶申し上げます。

また、東日本大震災に際しては、救援、救護活動や物資の緊急輸送路としての役割のほか、津波せき止め効果や、緊急避難場所等、被災面でも大きな効果を発揮するなど、まさに命の道としての道路整備の重要性が再確認されたところであります。

来賓挨拶

森 昌文

国土交通大臣代理
国土交通省道路局長



国土交通行政の推進にあたり格段のご支援と協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。道路は、産業活動や地域の生活を支える重要な基盤施設であります。その

ら復興加速です。震災後の事業化された復興道路、復興支援道路のうち14区間105kmにおきまして開通見通しが確定しております。早い区間では事業化から6年で、異例のスピードで開通する見通しです。三陸沿岸道路など被災地の復興に不可欠な事業を着実に進めてまいりたいと考えているところであります。

次に、防災、減災という観点です。先月の関東東北豪雨をはじめ、近年、雨の降り方が局地的、集中化、激甚化してきているところがあります。また火山噴火を含む自然災害がいつ起きてもおかしくない状況です。引き続き国民の命と暮らしを守るため、老朽化する道路スロップクについて着実な点検、措置を適切に実施するとともに、道路の防災、震

来賓挨拶

寺田 吉道

新潟県知事代理
新潟県副知事



大に開催させていただきます。心からお喜びを申し上げます。皆様ご承知のとおり、道路は産業や経済を支え、防災、減災など、住民生活に身近でも

つとも重要な社会基盤であります。本県は平成16年に中越大地震、平成19年に中越沖地震に見舞われ、明日10月23日には中越大地震の発生から11年を迎えるところであります。この間、全国の皆様からいただいた心温まるご支援に対し

加えていただきました。大会終了後には、道路視察に参り、お喜び申し上げます。また、本大会には、全国から加勢の皆様、本県も魅力を感じていただければ幸いです。

この会議は、長年に渡り、道路整備の促進や道路利用者の安全と利便性向上に向け、様々な取り組み、事業を展開され、数多くの功績を残されてきています。ご感謝を申し上げます。

道路は、申すまでもなく、市民生活の安心、安全はもとより、国土の強靱化、地方創成の実現に寄与する重要な社会資本であります。新潟市におきましても、日本海沿岸東北自動車道のミッシングリンクの解消はもとより、新潟市国土強靱化計画の実現、地方創成に向けた農業分野での国家戦略特区のさらなる推進や、航空機産業の育成を図っていくうえで、地域の産業経済を支える道路整備の充実、強化は欠かせません。

このような中、道路利用者の方々の意見を集約し、長期的かつ安定的な道路整備の一層の推進に向け、全国の関係する皆様一堂に会するこの大会は、個性豊かな地域の発展に向けて、非常に意義深いものと考えております。

議長

宮城県トラック協会会長



須藤 弘三

全国道路利用者会議
副会長

本日は、大臣あるいは政務出席するところではございますけれども、残念ながら、所用がございまして、貢献できませんでした。私様な課題に対応するため、引き続き必要な道路整備を代読させていただきます。本日は、皆様方へお礼申し上げます。